

## 富士山登山鉄道に反対する会 設立趣意書

霊峰と称えられる富士の御山は世界でも類を見ない崇高で優美な姿で古来より人々に崇拜され畏怖の念を抱かれてきました。また噴火や雪代などの災害は麓に暮らす人々に脅威を与え荒ぶる山として怖れられる一方でふもとに広がる広大な原始林や豊富な湧水は多様な動植物などを育み大きな自然の恵みをもたらしています。

畏怖の念や怖れには神々しい美しさや尊さなど人知を超えた敬意が含まれ転じて強い憧れともなります。富士の御山にはこのような際立った自然の特徴があったからこそ古くから崇め奉る霊峰と称えられ自然崇拜や山岳信仰の対象となっています。

そんな富士山において山梨県による「富士山登山鉄道構想」が進められています。富士スバルラインに軌道を整備しLRT(次世代型路面電車)を走らせようとするものです。山梨県は来訪者コントロール・環境負荷・五合目の人工的景観などの課題に取り組む最善の策として説明していますがこれまでに噴火や雪代などの災害対策・EVバスなど他の交通手段との比較検討・大規模開発の懸念などに納得のできる具体的な回答を示していません。そして冬の登山(通年観光)を進めることには何より信仰の観点から反対でありその上富士の麓で暮らし富士を守ってきた私たち地域住民の声をはじめ全国から寄せられている多くの意見に耳を傾けようとしない山梨県の姿勢に大きな不信感を抱いています。

こうした状況の中で富士吉田市だけが反対しているかのような報道がなされていることに私たちは大きな危機感を持っています 富士吉田市のみが孤軍奮闘しているのではなく私たち富士吉田市民や富士五湖に暮らす人たちさらに日本国民の多くが霊峰富士の尊厳を大きく踏みにじる富士山登山鉄道構想に反対していることを伝えるために動き出さなければいけないと強い意志を持ち私たちは富士山を守り次の世代に引き継いでいくために富士山登山鉄道構想の白紙撤回を目指し多くの人たちとつながり反対の運動の輪を広げていくことを決意しここに本会を設立するものです

令和六年四月二十六日

### 富士山登山鉄道に反対する会

代表 上文司 厚（北口本宮富士浅間神社）

上野 裕吉（富士五湖観光連盟）

井上 義景（富士山吉田口旅館組合）

勝俣 俊二（一般社団法人カノエサル）

白須 一政（富士吉田商工会議所青年部）

渡辺 果林（富士吉田商工会議所青年部）